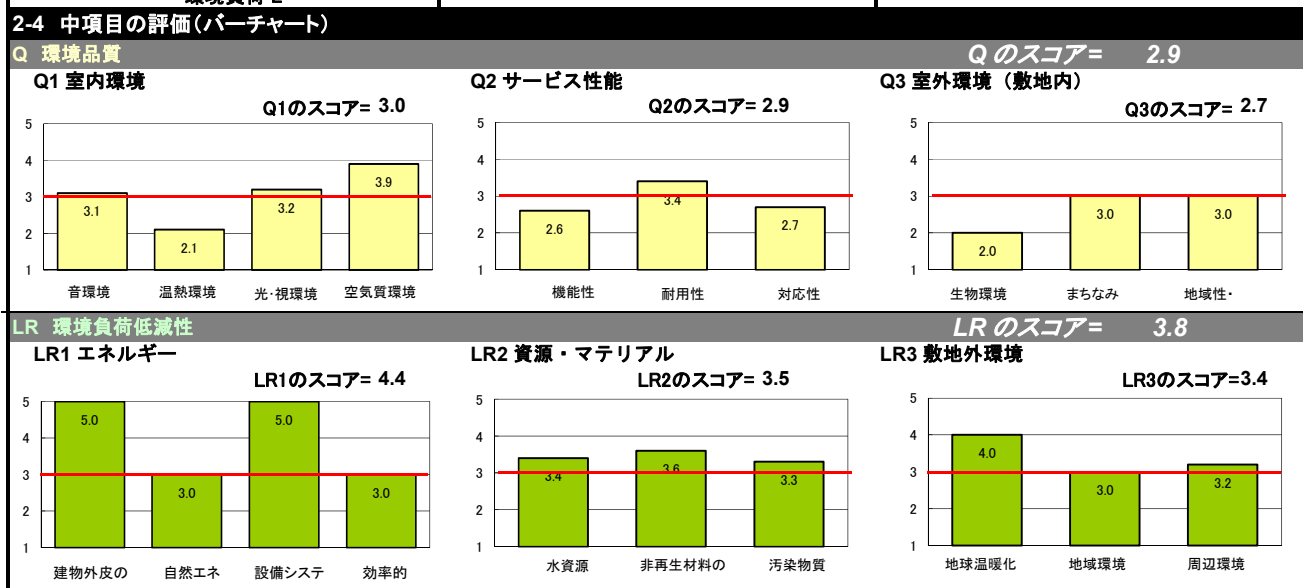
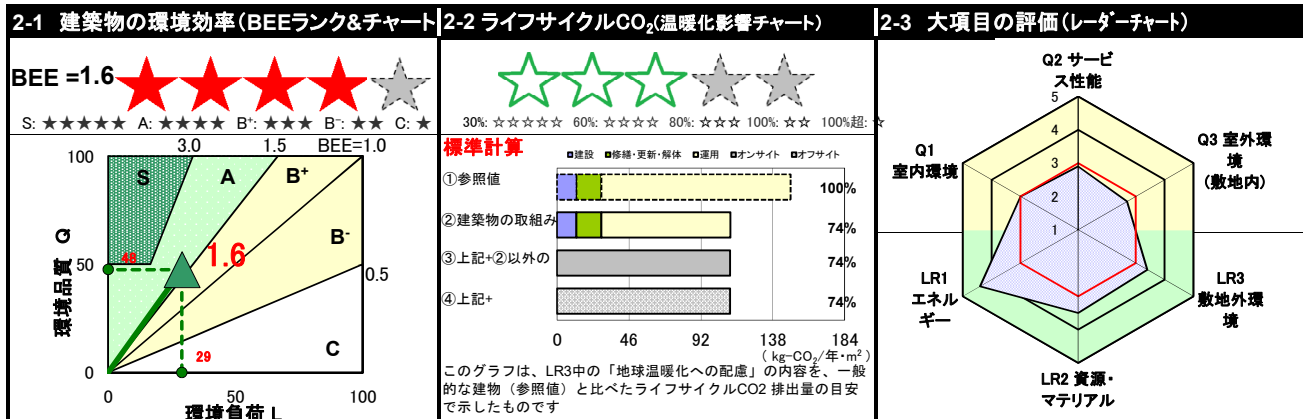




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	介護老人福祉施設わかたけ新子安新築工事	階数	地上6F
建設地	横浜市神奈川区新子安一丁目 24番 1	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域・近隣商業地域、防火地域・準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2024年6月24日
敷地面積	3,744 m ²	作成者	大平 剛資
建築面積	2,282 m ²	確認日	2024年6月27日
延床面積	9,638 m ²	確認者	竹田 一雄



3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 2.5%≦[昼光率]。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上。	Q2 サービス性能 建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽をして良好な景観を形成している。 建物の一部にイベントホール利用などの公共施設・機能を設けることで、地域の活動やにぎわいに貢献している。
LR1 エネルギー BPI _m =0.77。 BEI _m =0.68。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 躯体+軽鉄+仕上材のディールを採用し、GL工法も採用している。	LR3 敷地外環境 アメダスデータを用いていて風向風速卓越風などの環境を把握している。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称

介護老人福祉施設わかたけ新子
安新築工事

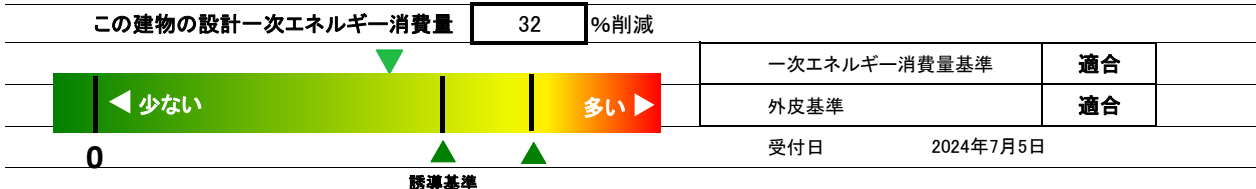
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI_m=0.77。③BEI_m=0.68。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上。

⑪ビル全体の禁煙が確認されている。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。

⑯日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級2相当。

⑰給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.2

介護老人福祉施設わかたけ新子安新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質					-		-	2.9
Q1 室内環境					0.40		-	3.0
1 音環境				3.3	0.15	2.8	1.00	3.1
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	-
1.2 遮音				3.8	0.40	3.6	0.40	-
1 開口部遮音性能				5.0	0.40	5.0	0.30	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音				3.0	0.20	1.0	0.20	-
2 温熱環境				2.0	0.35	2.6	1.00	2.1
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50	-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57	-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	0.43	-
3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	1.0	0.20	-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.30	3.0	0.30	-
3 光・視環境				3.0	0.25	3.6	1.00	3.2
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30	-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	5.0	0.60	5.0	0.60	-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.30	-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	3.0	0.15	-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	3.0	0.25	-
4 空気質環境				3.9	0.25	4.1	1.00	3.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63	-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気				3.0	0.30	4.3	0.38	-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	5.0	0.33	-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	5.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	5.0	1.00	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.9
1 機能性				2.2	0.40	3.8	1.00	2.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	5.0	1.00	-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.4	0.30	-	-	3.4
2.1 耐震・免震				3.8	0.50	-	-	-
1 耐震性		防 災	⑬耐震・免震	4.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能		防 災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		防 災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		防 災	⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		防 災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		防 災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備		防 災	⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				2.9	0.30	2.2	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり				2.8	0.30	1.4	0.50	-
1 階高のゆとり				4.0	0.60	1.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ				1.0	0.40	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.2

介護老人福祉施設わかたけ新子安新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート			実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目			<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	-	2.7	
1 生物環境の保全と創出			地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30	-	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.8	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	4.4	
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用			省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	-	5.0	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価					3.0	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
集合住宅の評価					-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	3.5	
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	-	3.4	
1.1 節水					4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.6	0.60	-	-	-	3.6	
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					5.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					5.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.20	-	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.5	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤					-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					4.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒					3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.4	
1 地球温暖化への配慮					4.0	0.33	-	-	-	4.0	
2 地域環境への配慮					3.0	0.33	-	-	-	3.0	
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33	-	-	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音					3.0	1.00	-	-	-	-	
2 振動					-	-	-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制					1.0	-	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策					5.0	0.70	-	-	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-	-	
上記以外の重点項目						-	-	-	-	-	
<事務用途>						-	-	-	-	-	
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-	
<住宅用途>						-	-	-	-	-	
健康と安心						-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質の対策			健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画			健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策			健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)			健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-	-	